

会期 2024年2月17日(土) 9:00~17:00

会場 鹿児島商工会議所ビル(アイムホール) (鹿児島県鹿児島市)

プログラム

09:00~09:05 >> 開会式

09:05~10:20 >> シンポジウム1. 異種臓器移植の現状と臨床応用への道筋

座長: 小玉 正太 (福岡大学医学部 再生移植医学講座)、後藤 昌史 (東北大学大学院医学系研究科 移植再生医学分野)

1. 異種臓器移植の臨床 松本 慎一 (国立国際医療研究センター)
2. 異種臓器移植実現に向けた臓器分離・免疫抑制療法の開発と課題 穴澤 貴行 (京都大学 肝胆脾・移植外科)
3. プタ臓器保存のための取り組み: プタ臓器培養研究を中心に 坂田 直昭 (福岡大学医学部 再生移植医学講座)
4. 日本での異種臓器移植実施に向けて 霜田 雅之 (国立国際医療研究センター研究所 臓器移植企業連携プロジェクト)
5. 遺伝子改変型臓器を用いた国内異種臓器移植の実施を目指して 小玉 正太 (福岡大学医学部 再生移植医学講座)

10:30~11:10 >> 一般演題1 「異種免疫応答」 座長: 清野 研一郎 (北海道大学遺伝子制御研究所 病態研究部門免疫生物学分野)

1. ヒトSP-Aによるヒト好中球誘導異種拒絶反応抑制効果の検討 松村 聡一 (大阪大学大学院医学系研究科 器官制御外科学講座 泌尿器科学)
2. HLA class Ib による好中球に対する制御 (Regulation of neutrophils by HLA class Ib) Katarzyna Gadomska (大阪大学大学院医学系研究科 小児成育外科)
3. 異種臓器移植を見据えたヒト脱落乳歯歯髄幹細胞を用いた液性及び細胞性免疫制御の検討 石山 宏平 (愛知医科大学 外科学講座 腎移植外科)
4. ヒト抗原提示細胞に提示されるSLA由来抗原の探索 岩崎 研太 (愛知医科大学医学部 腎疾患・移植免疫学)
5. 同種移植から考える異種移植の脱感作療法の可能性 田崎 正行 (新潟大学医学歯学総合病院 腎泌尿器病態学分野)

11:10~11:45 >> 一般演題2 「ブタ作出・大動物モデル」 座長: 小林 孝彰 (愛知医科大学 外科学講座 腎移植外科)

1. 異種移植を目指した遺伝子改変ブタ作出の試み 渡邊 将人 (株式会社ボル・メド・テック)
2. Uterectomy-isolated Rearing (U-IR) 法によるDPFブタ生産の実証例 中野 和明 (株式会社ボル・メド・テック)
3. Fc改変抗CD154抗体によるカニクイザルのアロ腎移植モデルにおける長期生存 広瀬 貴行 (北海道大学病院 泌尿器科)
4. Routine cold storage (5 hours) leads to hyperacute graft loss in pig-to-baboon kidney xenotransplantation; hypothermic machine perfusion may be preferred preservation modality 久留 裕 (Johns Hopkins University, Department of Surgery/Transplantation)

11:45~12:10 >> 一般演題3 「種々の分野の異種移植研究」 座長: 竹内 和博 (鹿児島大学先端科学研究推進センター 医用ミニブタ・先端医療開発共同研究部門)

1. マーモセット卵子をマウス体内で作る~卵巣異種移植の現状と課題~ 三浦 詩織 (新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター 動物資源開発研究分野)
2. 異種移植による新たな麻痺治療法の開発 佐伯 総太 (名古屋大学大学院医学系研究科 人間拡張・手の外科学)
3. 子宮内胎仔への異種胎仔腎臓移植法の開発—先天性腎疾患患児を想定したラットモデルでの検討 森本 啓太 (東京慈恵会医科大学 腎臓・高血圧内科)

12:15~12:50 >> ランチョンセミナー. 大動物を用いた異種移植臓器の病理解析の経験 司会: 田崎 正行 (新潟大学医学歯学総合病院 腎泌尿器病態学分野)
演者: 清水 章 (日本医科大学 解析人体病理学)

12:15~12:50 >> 世話人会

13:00~13:05 >> 挨拶: 井戸 章雄 (鹿児島大学副学長・筆頭理事 (研究・情報担当))

13:05~13:30 >> 特別セミナー. ブタ内在性レトロウイルス (PERV) に対する増殖阻害薬の研究

司会: 佐原 寿史 (鹿児島大学先端科学研究推進センター 大動物研究推進部門)
演者: 馬場 昌範 (鹿児島大学先端科学研究推進センター 感染制御研究部門)

13:30~14:50 >> 国際セミナー. 米国・中国における異種移植研究の現状

座長: 奥見 雅由 (京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科)、長嶋 比呂志 (明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート)

1. 10GEブタを用いたヒトへの前臨床腎臓移植における一貫した6か月以上生存の達成 Kazuhiko Yamada (Department of Surgery, The Johns Hopkins University Medicine)
2. The possibility and challenge of xenotransplantation: Has the barrier of interspecies immunity really been crossed? Hidetaka Hara (The Transplantation Institute of Hainan Medical University)
3. Breeding and clinical research of gene edited minipigs for xenotransplantation Dengke Pan (Chengdu Clonorgan Biotechnology Co. LTD)
4. The current state of xenotransplantation research in China Yi Wang (The Transplantation Institute of Hainan Medical University)

15:00~16:50 >> シンポジウム2. 異種臓器移植の臨床応用へむけた日本の現状と課題

座長: 宮川 繁 (大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科)、岸田 晶夫 (東京医科歯科大学生体材料工学研究所 物質工学分野)

1. 日本における免疫学的高リスク腎移植の限界と異種腎移植の候補者 奥見 雅由 (京都府立医科大学大学院医学研究科 泌尿器外科)
2. 最重症の心不全に対する治療の限界と、異種心臓移植への期待 斎藤 俊輔 (大阪大学大学院医学系研究科 心臓血管外科)
3. 異種移植用遺伝子改変ブタの生産とDPF化技術の現状 長嶋 比呂志 (明治大学バイオリソース研究国際インスティテュート)
4. 薬機法から見た異種移植の展望 (AMED研究事業で期待すること) 飯野 彬 (厚生労働省医薬局 医療機器審査管理課)
5. 「異種移植の実施に伴う公衆衛生上の感染症問題に関する指針」の観点からの異種臓器の取り扱いに関する課題 右近 裕一郎 (厚生労働省医薬局 研究開発政策課)
6. ヒト用動物細胞加工製品の品質と安全性: ヒト細胞加工製品の品質・安全性の確保に関する指針等から考える 佐藤 陽治 (国立医薬品食品衛生研究所 薬品部)
7. ブタ内在性レトロウイルスのヒト細胞感染性評価法の開発 河野 健 (国立医薬品食品衛生研究所 再生・細胞医療製品部)

16:50~17:00 >> 表彰式・閉会式